

# のあそび

## 主な内容

- 市の財政事情② 市の台所はこのように  
55年度予算の執行状況 54年度決算の見込  
額……………2～5 P
- 市立幼稚園児募集……………6 P
- 郷土史探訪⑤ ジョン・パチエラーの生  
活のあと「青葉町」……………6 P
- 市民の声……………7 P
- みんな受けよう 新入学児童の健康診断…8 P

●No. 313 ●昭和55年11月1日発行 ●発行/北海道登別市●編集/総務部公聴広報課●印刷/中西印刷



たくさんの主婦が詰めかけた第三回みんなの生活展

## 市民文化祭たけなわ

みんなの生活展 主婦の人気呼ぶ

「豊かな明日のために生かそう市民生活安定条例」をテーマに、登別市、登別消費者協会など主催の第三回みんなの生活展が十月十六日から三日間、中央公民館で開かれました。

この催しは、第十六回市民文化祭の一環として行なわれ、あなたも賢い消費者にと、苦情や消費生活相談の条例コーナーなどが設けられ、主婦らが買い物だけでなく次々と会場を訪れ、各コーナーを熱心に見て回りました。

会場では、古着から生まれ変わった子供服などのリフォーム作品展、肥満予防の食生活展や着色料の商品テスト、みそ汁の塩分測定などが行なわれ、なかには担当相談員とひざを交えて話し合いをする光景も見られました。

また、お米フェアが開かれ、来場者に一人五百粒の米がプレゼントされたほか、お米を使った揚げ物の試食会や牛乳の試飲会も行なわれ、連日主婦らでにぎわいを見せていました。

文化祭行事も終盤を迎え、各地で多彩な催し物が繰り広げられています。あなたも、お近くの会場に出かけてみませんか。

# 11.1 1980

## 市の財政事情②

# 市の台所はこのように

市民のみなさんが納めた税金はどのように使われ、また、市の財政がどのような状況にあるのかをお知らせし、市の財政を正しく理解していただくために、市では毎年二回、財政事情の公表を行なっています。

これは「登別市財政状況の公表に関する条例」に基づくもので、今回は、昭和五十五年の予算執行状況と昭和五十四年度の決算見込額をお知らせします。

また、今年度の事業から、市内各地で進められている主な建築、土木事業を写真でご紹介します。

## と進む 今年の都市づくり



老人福祉センター

完成予想図

待望の二施設（老人福祉センター、郷土資料館）の起工式が十月二日行われ、現在工事が進められています。富士町七丁目十一番地には、総事業費二億三千二百四十四万円で、老人福祉センターが建設され、完成見込は三月下旬となっております。

## 55年度予算の執行状況

### 一般会計

六月の定例市議会において、老人福祉センター、市民センター、総合運動公園や公共下水道建設などを盛り込んだ、昭和六十二年度を最終年度とする「登別市総合基本構想・基本計画」が可決されました。

今年度は、その初年度として予算編成が行なわれ、一般会計予算総額は百八億四千五百九十三万七千円（九月末現在）で、昨年同額と比較すると約十三億円、十三・六%の増となっております。

財政運営では、「中・長期財政計画」のもとに、今年度を財政再建の元年と位置づけ、長期的展望に立って、健全財政を主眼とした財政運営に努めています。

収入の内訳は、市民税や固定資産税など、市民のみなさんの納める市税が四十七・三%の収入済み額から交付される地方交付税、国

一般会計予算執行状況  
目的別にみた予算執行額（昭和55年9月30日現在）

歳入		予算総額一〇八億四千五百九十三万七千円（繰越明許費を除く）	歳出	
1,227,960千円(47.3%)	市税 (2,594,650千円)		総務費 (880,667千円)	545,039千円(61.9%)
1,436,779千円(57.1%)	地方交付税 (2,140,100千円)	民生費 (2,740,877千円)	1,066,839千円(38.9%)	
790,131千円(30.8%)	国庫支出金 (2,144,951千円)	土木費 (1,516,861千円)	370,649千円(24.4%)	
79,133千円(17.7%)	道支出金 (447,832千円)	教育費 (946,207千円)	307,832千円(32.5%)	
288,165千円(17.6%)	繰入金 (623,500千円)	公債費 (1,048,409千円)	509,113千円(48.6%)	
395,547千円(51.8%)	諸収入 (1,633,230千円)	給与費 (2,353,150千円)	1,144,639千円(48.6%)	
	市債 (498,550千円)	その他 (1,359,766千円)	775,760千円(57.1%)	
	その他 (763,134千円)			
収入済額	4,217,715千円(38.9%)	支出済額	4,719,871千円(43.5%)	

(%) 執行率 (単位千円)

### 支出の状況

九月末までに、予算の四十三・五%にあたる四十七億千九百八十

市民のみなさんが納める市税は

借入先/室蘭信用金庫  
借入額/六億円

庫支出金は、それぞれ六十七・一%、三十六・八%が収入済みとなっております。

七万千円が使われています。支出の内訳をみてみますと、総務費六十一・九%、民生費三十八・九%、土木費二十四・四%、教育費三十二・五%、公債費四十八・六%、その他五十七・一%となっております。

一時借入金金の現在高  
(9月30日現在)

学校の建設や道路の整備、あるいは福祉制度の充実にと、様々な方面に使われています。

今年度収入予算額の二十三・九%を占める市税は、二十五億九千四百六十五万円です。

これを今年の九月末の人口五万七千二百七十六人で割ってみますと、市民一人当たりの負担額は四万五千三百一円となります。

一方、一人当たりの支出予算額は十八万九千三百六十三円となっております。

排水整備



市内各地で市道舗装と排水整備が進められています。今年度の事業は二億二千八百万円で、市道舗装約四〇、排水整備約六・七が実施されます。

市道舗装

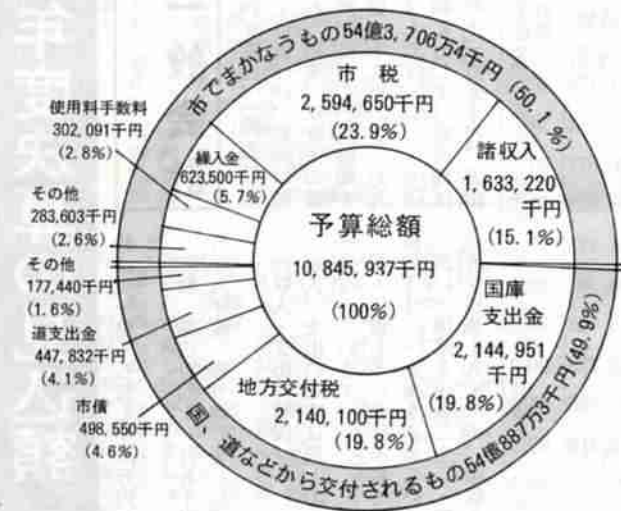


郷土資料館

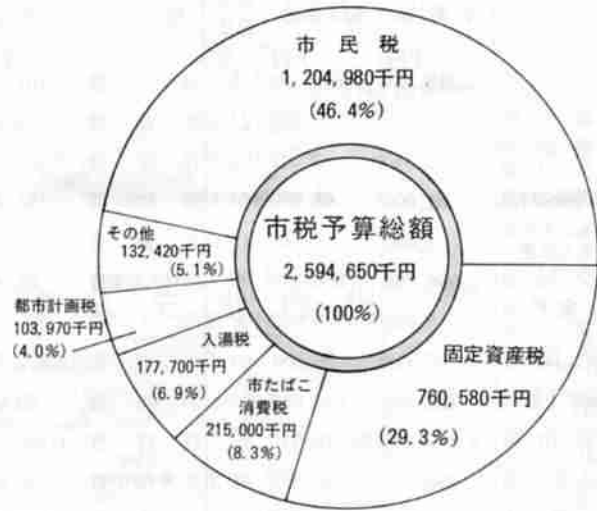
視別ダム下の総合公園予定地の一面に、総事業費一億円で着工されました。片倉藩の白石城をモデルにした鉄筋コンクリート三階建てで、完成は来年3月下旬の見込みです。

着々

一般会計予算財源内訳



市税の内訳



特別会計総額

区分	金額(千円)	執行率(%)
歳入歳出予算額	2,661,033	-
収入済額	835,173	31.4
支出済額	914,160	34.4

支出済額  
収入済額  
予算額  
(単位千円)

特別会計

特別会計は、行政運営の基本的な経費を中心とした一般会計に対して、特定の収入をもって特定の支出にあてるために、一般の歳入歳出とは別個に処理する会計です。登別市では、次の四特別会計が三十四・四％となっています。

- 国民健康保険特別会計
- 上鷲別東部地区土地区画整理事業特別会計
- 学校給食事業特別会計
- 観光事業特別会計

あります。

西陵中学校校舎増築

不足教室を補うため、普通教室2室を増築しています。総工事費3,700万円。



鷺別中学校分教場敷地造成

陸上自衛隊第13施設群に要請して進められた造成工事が完了、10月18日引き渡し式が行なわれました。敷地造成工事が進められていたのは、富岸町1丁目11番地の市有地で、来年度に校舎の建設を予定しています。



市民水泳プール

若山町の市総合体育館前に、総事業費七千万円で完成しました。プールの規模は縦二十五メートル、横十七メートル、深さ一・一メートル、二辺で八コース。来年度の七月頃から一般に無料で開放されます。

表①

一般会計

歳入			歳出		
科目	予算額	収入済額	科目	予算額	支出済額
市税	2,318,324	2,343,509	議会費	101,549	101,176
地方譲与税	90,000	111,595	総務費	772,834	742,554
雑収入	2,340	2,347	民生費	2,381,161	2,326,677
自動車取得税交付金	64,000	66,909	衛生費	195,431	191,833
国有提供施設等所在市町村助成交付金	489	547	労働費	284,689	281,173
地方交付金	1,996,699	1,980,072	農林水産業費	65,344	64,361
交通安全対策特別交付金	8,000	8,022	商工費	347,619	346,793
分担金及び負担金	55,418	55,034	土木費	1,479,799	1,466,758
使用料及び手数料	232,704	244,657	消防費	60,841	57,898
国庫支出金	2,347,430	2,316,841	教育費	1,492,709	1,339,319
道支出金	266,452	259,363	災害復旧費	36,699	36,677
財産収入	82,258	91,953	公債費	936,711	932,069
寄附金	60,070	8,918	給与費	2,234,090	2,228,432
繰入金	737,219	737,216	予備費	163	0
繰越金	140,147	140,147			
諸収入	1,338,589	1,340,305			
市債	649,500	613,000			
合計	10,389,639	10,320,435	合計	10,389,639	10,115,720

特別会計

会計区分	予算額	歳入		歳出	
		収入済額	対予算比	支出済額	対予算比
国民健康保険特別会計	1,375,297	1,281,213	93.2	1,308,646	95.2
観光事業特別会計	89,914	72,277	80.4	74,462	82.8
学校給食事業特別会計	341,057	340,419	99.8	340,375	99.8
上鷺別東部地区土地区画整理事業特別会計	618,075	708,988	114.7	596,474	96.5
合計	2,424,343	2,402,897	99.1	2,319,957	95.7

一般会計

昭和五十四年度は、「調査計画の年」として位置づけ、数回の補正が行なわれた結果、年度末の最終予算額は前年度からの繰越額を含め、百三億八千九百六十三万九千円となりました。この予算額に対して、収入額は百三億二千四十三万五千円、支出額は百一億千五百七十二万円で、差額二億四百七十一万五千円は五十五年度へ繰り越しました。

収入・支出の状況  
収入、支出の構成は表①のようになっています。  
収入で最も多いのは市税で、全体の二十二・七%を占めています。次に国庫支出金二十二・四%、地方交付税十九・二%、諸収入十

54年度決算の見込額

額は百一億千五百七十二万円で、差額二億四百七十一万五千円は五十五年度へ繰り越しました。

特別会計

三%、以下繰入金、市債、使用料及び手数料、その他の順になっており、中でも市債が五十三年度の三十四・九%に押えられていたことが大きな特色となって表われています。

一方の支出では、トップは民生費で全体の二十三%を占め、次いで給与費二十二%、土木費十四・五%、教育費十三・二%、以下公債費、総務費、商工費、労働費と続いています。

年度末の市債現在高は……

五十四年度末における、元金のみの市債現在高は八十億四千二百四十五万六千円で、その目的別借入れの内訳、借入先の内訳は図③のとおりです。

四つの特別会計の総予算額は二十四億二千四百三十四万三千円となり、収入額は二十四億二百八十九万七千円、支出額は二十三億九千九百九十五万七千円となりました。各特別会計の内訳は、表①のとおりです。

公営住宅建設

新生町2丁目に鉄筋コンクリート4階建て1棟24戸(3DK)を総事業費2億2,174万円で建設しています。入居開始は、来年4月の予定です。



幌別駅東口

幌別駅前周辺整備

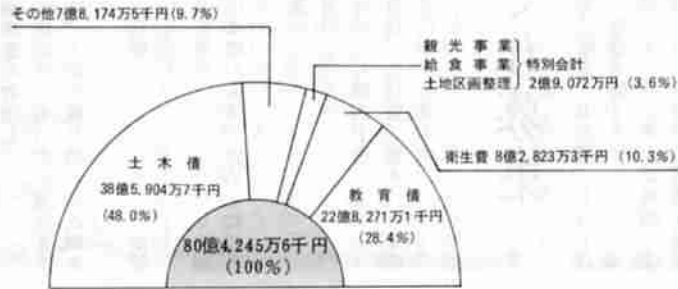
総事業費1,000万円で、西口と東口に自転車置場を設置し、東口前広場の整備を行いました。



ちびっこ広場造成

総事業費九百万円で、市内四ヶ所に設置します。片倉町四丁目を除く他の三ヶ所は十一月下旬完成見込みです。

目的別内訳



借入先別内訳



図③

市で借りているお金

(市債元金のみ)

スピードは控えめに 車間距離は十分に

初冬の十一月は、夕暮れが一段と早まり、この時間帯は仕事や帰宅を急ぐ人、車のラッシュ時間帯となるため、毎年歩行者被害の交通事故が多く発生しています。また、この時期は急に気温が下がりが、霜や雪が降るなど道路状態が悪くなるため、事故発生の危険性が高まります。一人ひとりが注意して悲惨な交通事故を「起こさない、あわせない、あわせない」ようにしましょう。

初冬の十一月は、夕暮れが一段と早まり、この時間帯は仕事や帰宅を急ぐ人、車のラッシュ時間帯となるため、毎年歩行者被害の交通事故が多く発生しています。また、この時期は急に気温が下がりが、霜や雪が降るなど道路状態が悪くなるため、事故発生の危険性が高まります。一人ひとりが注意して悲惨な交通事故を「起こさない、あわせない、あわせない」ようにしましょう。

初冬の十一月は、夕暮れが一段と早まり、この時間帯は仕事や帰宅を急ぐ人、車のラッシュ時間帯となるため、毎年歩行者被害の交通事故が多く発生しています。また、この時期は急に気温が下がりが、霜や雪が降るなど道路状態が悪くなるため、事故発生の危険性が高まります。一人ひとりが注意して悲惨な交通事故を「起こさない、あわせない、あわせない」ようにしましょう。

初冬の十一月は、夕暮れが一段と早まり、この時間帯は仕事や帰宅を急ぐ人、車のラッシュ時間帯となるため、毎年歩行者被害の交通事故が多く発生しています。また、この時期は急に気温が下がりが、霜や雪が降るなど道路状態が悪くなるため、事故発生の危険性が高まります。一人ひとりが注意して悲惨な交通事故を「起こさない、あわせない、あわせない」ようにしましょう。



シートベルトの着用を習慣づけましょう。シートベルトを着用すると正しい姿勢で運転操作ができるので、疲れが少なくなります。万一事故にあっただけでも、被害は非常に軽くなります。運転者はもちろん、同乗者にもシートベルトの着用を習慣づけましょう。存在を示す、夜光反射材を身につけましょう。夜間、交通事故から身を守る夜光反射材が効果的です。歩行者は、靴などのほき物や

カバンなどの持ち物に、自転車は後部配よけやペダルなどに夜光反射材をつけましょう。室蘭警察署

簡易保険はまちづくりの柱  
市では住みよいまちづくりのため、毎年施設の整備を行っていますが、この資金の一部に、みなさんが加入している簡易生命保険の積立金から融資を受けており、これまでの融資残高は、二十三億八千四百四十四万三千元にも達しています。このように簡易保険の保険料はまちづくりの柱として、大切な役割をはたしています。

市の財産目録です

多種多様な市有財産ですが、大きく分けると下の表のようになります。(昭和54年度末現在)

市有財産の内訳		面積/金額
土地	地	4,036,756.72 ㎡
建物	物	189,936,716 ㎡
預金・現金		517,809 千円
債権		120,213 千円
その他		48,819 千円

# 市立幼稚園児募集

## 受付期間 11月10日～14日

昭和五十六年度の公立幼稚園  
(富士・若草・登別温泉)の園児  
を次により募集します。

昭和五十六年四月二日から昭和  
五十二年四月一日までに生まれ  
た幼児(昭和五十六年四月一日現在  
満四歳児)。

昭和五十六年四月二日から昭和  
五十二年四月一日までに生まれ  
た幼児(昭和五十六年四月一日現在  
満四歳児)。

- 登別市内の次の区域内に保護者  
と同居している幼児。
- 富士幼稚園Ⅱ中央町・常盤町・  
千歳町・新栄町・幌別町・幸町・  
富士町・柏木町・片倉町・新川町  
緑町・桜木町・青葉町・札内町・  
鉾山町・川上町・栄馬町の全域、  
若山町一・二丁目、大和町一丁目
- 若草幼稚園Ⅱ美園町・若草町・  
新生町・上幌別町・富岸町・鶯別  
町・栄町の全域、大和町二丁目、  
若山町三・四丁目
- 登別温泉幼稚園Ⅱカルルス町・  
上登別町・登別温泉町・中登別町  
登別東町・登別本町・登別港町・  
富浦町の全域
- 幼児の登園および降園時に、保  
護者もしくは、それにかわる方が  
同伴できる家庭の幼児。
- 募集人員
- 富士幼稚園Ⅱ男子四十名、女子  
四十名。
- 若草幼稚園Ⅱ男子四十名、女子  
四十名。
- 登別温泉幼稚園Ⅱ男子・女子合  
わせて四十名。
- いずれも二年保育です。
- 入園願書の配付と受付
- 配付受付期間 十一月十日(月)

- 登別温泉幼稚園Ⅱ登別温泉町九  
番地七(電話4局2865)
- 応募手続き
- 所定の入園願書の配布を受け、  
提出すること。
- 住民票謄本一通と同伴通園誓約  
書を添付すること。
- 印鑑を持参し、受付で入園願書  
を記入提出してもよい。
- 入園の決定
- 応募者が定員を超えたときは、  
公開抽選で入園を決定します。
- ただし、登別温泉幼稚園の入園  
決定にあたっては、カルルス町、  
上登別町、登別温泉町、中登別町  
の幼児を優先して入園させ、登別  
東町、登別本町、登別港町、富浦  
町の幼児については、定員内に余  
りません。
- 入園料Ⅱ二千元
- 保育料Ⅱ月額四千元
- 保育費、教材費、絵本代、その  
他用品代がかかります。

- 若草幼稚園Ⅱ十一月二十一日  
(金)午後一時から。
- 登別温泉幼稚園Ⅱ十一月二十一  
日(金)午後一時から。
- 抽選の方法
- 男女別定数の場合は、男女別に  
抽選し決定します。
- 双生児の場合は、二人を一口と  
して抽選し決定します。
- 抽選決定後、入園審査を行ない  
「入園許可書」を交付します。
- 入園決定の取消
- 入園決定後でも、次に該当する  
ときは、入園を取り消すことがあ  
ります。
- 入園資格に反していることが認  
められたとき。
- 心身の異常で、いちじろしく園  
生活に支障があると認められたと  
き。
- 経費
- 入園料Ⅱ二千元
- 保育料Ⅱ月額四千元
- 保育費、教材費、絵本代、その  
他用品代がかかります。

## 私立幼稚園でも募集

- 登別私立幼稚園協会では、昭和  
五十六年度の入園児を募集します。
- 願書配付Ⅱ十一月十一日
- 願書受付Ⅱ十一月十三・十四日
- くわしくは、各幼稚園におたず  
ねください。
- 登別文化幼稚園Ⅱ鶯別町二丁目  
十七番地(電話6局7545)
- 白菊幼稚園Ⅱ中央町二丁目十六  
番地(電話5局2545)
- 登別カトリック聖心幼稚園Ⅱ中  
央町七丁目十五番地(電話5局2  
414)
- 白雪幼稚園Ⅱ登別東町四丁目十  
九番地(電話3局1162)

# 郷土史探訪

51

## ジョン・バチエラーの 生活のあと「青葉町」

春の生き生きとした緑と町の発  
展を望んで名付けられた青葉町は、  
昭和五十年には六世帯、人口二十  
五人でしたが、今日では登別市職  
業訓練センター、登別南高校、登  
別中央病院、青葉小学校などや付  
随する建物もできて、様相を大き  
くかえつつあります。

登別南高校から登別市職業訓練  
センターにかけての地域は、明治  
中期から開拓された所で、現在で  
も住居跡とイチイ(オンコ)の木  
が残されています。

国道36号線を走る車や国鉄の  
汽車の窓からも、雑木林の山麓に  
牧場の美しい姿を見ているのが  
吉鷹敬次郎氏の経営する通称吉鷹  
牧場で、ここにはアイヌ人の父と

多くの遺物が出土し、10月で調査が終了した川上B遺跡。(青葉町18番地)

渡ったのが明治十年で、幌別  
に来住したのは明治十九年の  
彼が三十三歳の時で、ルイザ  
夫人を伴って幌別のカンナリ  
キの世話になりました。

来住の目的は布教活動の場  
として、南端の函館よりも北  
海道中央に近い所を考えた  
でしょうし、また、カンナリ  
キの子供の金成太郎からは、  
函館でアイヌ語を習っていた  
関係もあって、幌別に来たも  
のと思われます。

青葉町に近代的な住宅を建  
てたのは明治二十年以降のよ  
うです。

また、東京在住の金沢タキさん  
は明治四十年生まれですが、幌別  
町の幌別川よりの海岸から、白く  
美しい教会風の建物を望むことが  
できたと話してくれました。

身体が大きいがこびけを伸ばし  
た彼が「イエス・キリストを信ぜ  
よ」と、柔和な微笑みをうかべな  
がら語りかける姿を知る人は少な  
くなりながらも、幌別から札幌へ  
移住したからも大正期には時々来  
ておられたので、彼を語る人がま  
だおられる事はうれいことです。

青葉町と遺跡との関係では、吉  
鷹牧場の中心近くに、北海道縦貫  
自動車道が建設される事により、  
緊急な遺跡発掘の調査が道文化財  
保護委員会の手で実施されました。  
今から三・四千年ほど前は、若  
山町・緑町の低地帯が一部海岸、  
または海跡湖のようになっていま  
したから、青葉町の五軒から十軒  
くらいの台地付近からは、縄文時  
代の遺物である土器や石器が時々  
発見されます。

遺跡発掘の出土遺物については  
約四・五千年前の縄文中期の古い  
土器が見られますが、緑の町「青  
葉町」にも古代人の古い生活の歴  
史の跡があるわけです。

登別市郷土文化研究会 宮武記



# 声

## 市民の



このほどの災害には、市職員の方々の並ならぬご尽力、本当にご苦労様でした。災害が終わって感じたのですが、今年の六月定例市議会において議決されました、「登別市総合基本構想」を一日も早く実現し実施することにより、登別市から災害を少しでも減少させることができるのではないかと思います。(市内富士町七丁目四十六番地二 後藤 竹四郎さん)

私はピリヤードの愛好会の一人です。昨年富士町七丁目市民レクリエーションセンターが出来て以来、同好会もつくり昔なつかしい玉突きを楽しみ大会なども行なってきました。

しかし、今年三月いっぱい市民レクリエーションセンターが閉鎖され、解体される様子もなくま

により、市民の皆様には色々と不便をおかけした事と思いますが、一日も早い復旧に努力をいたしております。

ご承知のとおり、「登別市総合基本構想」は、登別市が輝かしい飛躍発展をとげるよう一層の努力を重ね、次の世代に引き継ぐことは、現代に生きる私共の使命であると考え、市民の皆様貴重なご意見や、ご指導をいただき策定いたしました。今回の災害を教訓としてなお一層の治山、治水をはじめ、生活環境整備事業の推進を図り、五万七千人市民の平和と幸福を常に念頭において実施していきたいと考えております。

(総務部企画課)



か使用出来る状態と思われず、解体の間でも使用させてほしい。(市内常盤町四丁目三十五番地二 松本 敬三さん)

市民レクリエーションセンターについては、老人福祉センター建設のため今年三月三十一日付で廃止をし、内部の取り壊しを進め九月いっぱい建て物を全部壊し、十月から老人福祉センターの工事に取りかかっています。

老人福祉センター建設の場所としては、市内全域の老人が使用するといいことで、市内の中心地的場所ということが大きな要因となり、市民レクリエーションセンターの場所が選ばれた訳ですので、老人福祉に協力をするということで皆様方のご理解をお願いいたします。

(教育委員会社会教育課)



お年寄りを火災から守りましょう。寝たばこは、死亡火災につながります。

### 市内三地区で 手話講習会を開催

手話サークル「登別手話の会」では、より多くのみなさんに参加していただくため、市内三地区で講習会を開催します。

年齢、性別を問わず中学生からお年寄りまで、多数の方の参加をお待ちしています。

▽観別地区 青少年会館：十一月

なるための単位が与えられます。

お茶の間で  
交通安全を：

▽お母さんは、家庭の安全管理者です

### 映像技術講習会

市視聴覚研修会では、市民を対象に八ミリ、十六ミリの映像技術講習会を開催します。

▽日時 11月24日(日)午後6時から9時まで

▽身分 特別職国家公務員

▽場所 中央公民館和室

家庭には、車を運転するお父さん、お兄さん、事故にあいやすいお年寄りや子供が一緒に住んでいます。

夕食後のひと時は、お母さんのキャッチした情報をくぐりに、家族一人ひとりの今日の体験を交えて、交通事故の恐ろしき、事故にあわれない知恵などについて語り合いたしましょう。

▽参加料 無料

ご寄贈ありがとうございます

ご寄贈ありがとうございます

▽申込先 市教育委員会社会教育課(電話5局2111内線349)

▽申込先 市教育委員会社会教育課(電話5局2111内線349)

▽お問い合わせください

## 文化短信

### 社交ダンス 初心者講習会

登別社交ダンス愛好会では、初心者を対象に次のとおり講習会を開催します。

▽日程 11月12日、14日、18日、19日、21日、22日(6日間)

▽時間 午後6時30分～8時30分

▽場所 登別市婦人センター

▽内容 ブルース、マンボ、ジルバ、ワルツ、キューバルンバ、

▽受講料 千円(当日会場で納入してください)

### タンゴ

▽申し込み・問い合わせ先 市教育委員会社会教育課(電話5局2111内線349)

レクリエーション講習会

市レクリエーション協会では、レクリエーション活動の普及のため、広く市民を対象に次のとおり講習会をおこないます。

▽日時 11月9日：午後1時から11月14日、19日、20日、26日、

▽申込先 市教育委員会社会教育課(電話5局2111内線349)

※講習会終了者は、二級指導員と

# みんな受けよう 新入学児童の健康診断

昭和五十六年四月一日から、小  
学校へ入学するお子さんの健康診  
断を次の日程表のとおり実施しま  
すので、対象者は全員受診される  
ようお知らせします。

月日(曜日)	診断場所	対象学校名	検診対象町名	受付時間
11月12日(水)	鷺別公民館	鷺別小学校	鷺別町1、2、3、4、5丁目	午後1:30から 午後2:00まで
11月13日(木)	鷺別公民館	鷺別小学校	鷺別町6丁目、栄町1、2丁目	午後1:30から
		富岸小学校	新生町、富岸町の全域、栄町3、4丁目、若山町3、4丁目、大和町2丁目	午後2:00まで
11月14日(金)	鷺別公民館	若草小学校	美園町、上鷺別町、若草町の全域	午後1:30から 午後2:00まで
11月18日(火)	労働福祉センター	幌別小学校	中央町、常盤町、来馬町の全域	午後1:30から
		幌別西小学校	新川町の全域	午後2:00まで
11月19日(水)	労働福祉センター	幌別小学校	千歳町の全域	午後1:30から
		幌別西小学校	富士町、片倉町、柏木町、川上町、鉾山町の全域	午後2:00まで
11月20日(木)	労働福祉センター	幌別東小学校	幌別町、幸町、新栄町の全域	午後1:30から
		青葉小学校	緑町、桜木町、青葉町の全域、若山町1、2丁目、大和町1丁目	午後2:00まで
11月21日(金)	登別婦人センター	登別小学校	登別本町、登別東町、富浦町、登別港町、中登別町の全域、札内町381番地	午後1:30から
		札内小学校	札内町	午後2:00まで
11月25日(火)	登別温泉公民館	登別温泉小学校	登別温泉町、上登別町の全域、中登別219番地	午後1:30から
		カルルス小学校	カルルス町の全域	午後2:00まで

なお、すでに健康診断の案内状を送付していますが、まだ届いていない家庭は、教育委員会学校教  
育課(電話5局2111内線34  
6)へご連絡ください。

## 赤ちゃん相談

(3カ月児)

▽内容 医師による診察、計測、生活指導、栄養指導  
▽用意するもの 母子健康手帳、換えオムツ、バスタオル  
▽日程 11月26日：労働福祉センター(受付/11時15分～11時30分、対象/幌別地区の昭和55年8月出生児)

## 家庭児童・母子相談

母子相談

▽内容 医師による診察、計測、生活指導、栄養指導  
▽用意するもの 母子健康手帳、換えオムツ、バスタオル  
▽日程 11月27日：鷺別公民館(受付/11時15分～11時30分、対象/鷺別地区の昭和55年8月出生児)

○相談日・場所

▽毎日午前九時から午後三時まで(祝日、日・土曜日を除く)福祉事務所市民相談室(担当相談員が面接にあたります。7月第三木曜日午後一時から

## 国民健康保険税の納入に協力ください

国民健康保険税は、保険財政運営の大切な財源で国民健康保険加入者の病気やケガなどの医療費をまかなう重要な役割をはたしています。  
納入状況を前年度と比較し、病気やケガをしたとき安心してお

す、今年度は課税方式も変わったこともあり、若干ですが下回っています。  
このような状況で推移しますと、増高する医療費に対応する財源が、納期内に納入できるようご協力を、お願いいたします。  
また、納期ごとに支払いが困難な方には、分割納入のご相談をお受けいたしますので、早めに納税相談をご利用ください。

## 建築業会計講習会を開催

登別商工会議所では、次の日程

三時まで(今月は十一月二十日)中央公民館和室(室蘭児童相談所員による定例相談)

▽受講料 二千元(資料代含む)  
▽定員 三十名(定員になり次第締め切ります)  
▽申し込み 十一月十日までに登別商工会議所へ(電話5局4111)

## 不用品タイヤル市



5局2111  
内線 257

おわけします(売り)

シングルベッド、うば車、ベビーベッド、オートバイ(50cc)、電気オルガン、加湿器、ペースキター、電気冷蔵庫、室内用灯油タンク(20ℓ)、温風式石油ストーブ、バスオール、電動ミシン、スキー靴(27cm、24.5cm赤)、剣道用具一式

ゆずってください(買い)

大人用自転車、男子用自転車(3～4歳)、女子用自転車(3～4歳)、ジュースミキサー、カーペット(8畳)

## 切れていませんか

## 電気メーターの有効期限

計量法では、一般家庭、貸ビルアパートなどで使用されている電気メーターは、検定済みのものとなれば使用できないことになっていません。  
また、メーターの検定有効期間は七年間と定められており、期間が過ぎたもの、あるいは検査を受けていないメーターの使用は禁止されています。

このようなメーターを使用している人は、もよりの電気工事業者にご相談ください。  
なお、取替工事料などの費用はおよそ三千円くらいです。  
その他、詳しいことは日本電気計器検定所札幌試験所へお問い合わせください。(電話011-611-148)

## 四級小型船舶操縦士(国家試験)を実施

四級小型船舶操縦士試験が、十一月十八日室蘭港湾労働者福祉センター(身体検査・学科試験)、釧田町洞爺マリオン(実技試験)で行なわれます。  
申し込みは、次の機関へ。  
▽申し込み締切日 十一月八日  
▽申し込み・問い合わせ先 日本モーターボート協会北海道事務所(小樽市内一ノ九一・一松田ビル一階/電話0134-1325123)